



赤ちゃん・ちびっこ通信

Vol. 8 (2012年3月発行)

例年になく寒かった冬もようやく明けたようです。日頃は「赤ちゃん研究員」にご登録、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。本年度の調査にご参加くださった研究員の皆さま、お忙しい中調査室までお越しくくださった保護者の皆さま、まことにありがとうございました。今回は予定があわなかった方、また調査の対象年齢の都合で残念ながら調査をお願いできなかった方には、たいへん申し訳ありませんでした。皆さまのお力添えで、九州大学「赤ちゃん・ちびっこ研究員」も今年度で8年目を迎え、3月現在で828名の方（ご卒業された方も加えるとこれまで1392名の方）にご登録を頂いています。日頃のご理解・ご協力に、スタッフ一同心より感謝申し上げます。

調査を通して得た発見や貴重な情報を、学会で発表したり、論文や文章にまとめたりして、（時間はかかりますが）さまざまな方にきちんとお伝えすることをスタッフ一同心がけております。また、その発見や知識が、赤ちゃん・お子さん、保護者の方に、有形無形のかたちでご協力いただいたことによって成り立っていることを常に忘れずに、日々の調査・研究にあたりたいと考えています。これからも新しい調査をたくさん予定しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

今年度ご協力いただいた&現在進行中の調査をご紹介します

昨年度と今年度ご協力いただいた調査は、「日本赤ちゃん学会第11回学術集会」（京都大学 2011年5月）「第23回日本発達心理学会」（名古屋大学 2012年3月）等の学会・研究会で順次発表させていただきました。

赤ちゃん研究

赤ちゃんの音楽中の情動情報の抽出に関する調査

担当者：畑涼子 対象：8～10ヶ月児

赤ちゃんは、赤ちゃんは音楽を聴いて、「嬉しい」「悲しい」などの感情を読み取ることができるとされています。また、赤ちゃんは周りの人の表情を見分けることができるということが分かっています。そこで、この調査ではいろいろな嬉しい音楽、悲しい音楽を聴いた時に、嬉しい表情の顔、悲しい表情の顔のどちらを赤ちゃんが見るのかについて、「Tobiiアイ・トラッカー」という、画面のどこを見ているかを測定できる装置を用いて調べています。

ちびっこ研究

子どものもつ「他者に対する信頼」についての調査

担当者：松島暢志 対象：3～5歳児

私たちは他人と接する時、その人がどんな人物かによって信頼の程度を変えていきます。例えば同じ内容を教えてくれたとしても、ある人が言えば信頼しますし、別の人が言えば疑ってかかることもあるでしょう。自分ではどうしてもわからない問題に直面した時、私たちはどんな人を、またその人のどんな発言を信用するのでしょうか。今回の調査では、さまざまな人が画面上でものの名前を教えてくれる時に、子どもがどのような人を頼りにするかについて、その変化を調べています。



幼児のコミュニケーション場面における帰責判断の調査

担当者：廣政祐和 対象：5～6歳児

日常生活で起こるさまざまな「社会的いさかい」に対して私たち大人は、こちらの方が悪い、あちらは悪くない、などなんらかの「答え」を出しています。このような責任帰属は「帰責性」と呼ばれています。しかし、中には「答え」をだすことが難しい問題もしばしば存在します。コンピュータ画面上に提示する紙芝居を見ていただき、「どちらに責任があるか判断が難しい場面」において、子どもたちがどのような判断を行い、それが発達にしたがってどのように変化するのかを、成人と比較しながら調査を進めています。

こどもの絵本の見方についての調査

担当者：松浦由巳子 対象児：3～5歳児

物語を読むとき、大人なら登場人物の視点に立つのは自然で当たり前のことです。例えば、絵本『おおきなかぶ』のかぶは、登場する人や動物の視点に立つからこそ、とても大きなかぶとして捉えられます。では、こどもはどのように絵本の世界を見ているのでしょうか。そこで、調査員が独自に作成した紙芝居を見てもらい、登場するキャラクターの大きさをジェスチャーで答えてもらうという方法で、こどもの絵本の見方について調査しています。



研究室からのお知らせ

- 九大広報Vol.78で、私たちの研究室と「赤ちゃん研究員」についてのインタビューを受けました。今回、その時の記事を同封いたします。鮮明な記事につきましては、橋彌研究室ホームページ <http://www.hes.kyushu-u.ac.jp/~devpsy1/index.htm> からご覧いただけます。
- 私どもの研究室では現在、0～6歳頃までのお子さんと保護者の方に調査のご協力をいただいております。0～1歳のお子さんを「赤ちゃん研究員」、2歳～就学前までのお子さんを「ちびっこ研究員」としてご登録させていただいております。登録の切り替えは毎年4月に行っております。4月時点で2歳になられているお子さんにつきましては自動的に「ちびっこ研究員」へと登録を移行させていただいております。引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。
- お引越しなどで登録内容（電話番号・住所など）に変更が生じた場合は、ご連絡いただければ幸いです。また、遠方へのお引越し等で登録の解除を希望される場合は、その旨をご一報いただければ大変ありがたいです。こちらで変更の手続きをさせていただきます。
- 4月に小学校へ進学される皆さま、ご入学おめでとうございます。「赤ちゃん・ちびっこ研究員」の登録は就学年齢で終了とさせていただきます。長らくのご協力、まことにありがとうございました。ご登録いただいていた個人情報はこちらで責任を持って削除させていただきます。

連絡先

九州大学 人間環境学研究院・教育学部 発達心理学講座

橋彌 和秀（はしや かずひで）：准教授

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1（教育心理棟3階307号室）

TEL & FAX: (092) 642-3143 E-mail: babykyushu@yahoo.co.jp

Web : <http://www.hes.kyushu-u.ac.jp/devpsy1/is/index2.html>

九州大学 赤ちゃん研究員

検索

